

ソーラーライトECO

取扱説明書

この度は、RITEXのソーラーライトECOをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。本書はお読みになった後も大切に保管してください。

1. 部位説明

【ライト本体】

左80° 右80°

15°

90°

360°

左 右 下

【ソーラーパネル】

ソーラー太陽電池

コード(5m)

差し込みジャック

底面から見た調節操作部

時間調節つまみ

点灯調節つまみ

ジャック差し込み口

ブラケット固定ネジ

電源スイッチ

【付属部品】

パネル用取付けネジ×4本
プラスチック製プラグ×4本

クランプ台×1個

L型ボルト×1本

ネジ×2本

ネジキャップ×1個

探知角度調整シール×1枚

2. ご使用前にご確認ください

ご使用前に必ず下記の事項をご確認のうえ、安全にご使用ください。指定された用途以外には絶対にお使いにならないでください。

購入後は充電してください

- 購入直後は充電が不十分ですので、晴天の日に約2日間充電した後、使用してください。
- 数日間、天候の悪い日が続きますと、充電が不十分になります。
- ※電源スイッチはOFFにして充電してください。

5m以内に

ソーラーパネルのコードは5mです。本体との距離を確認した上で取付けてください。

正しい角度に

ソーラーパネルの取付け場所や角度が正しくない場合は十分に充電できません。

※「ソーラーパネルの取付け場所」参照

センサーの点検

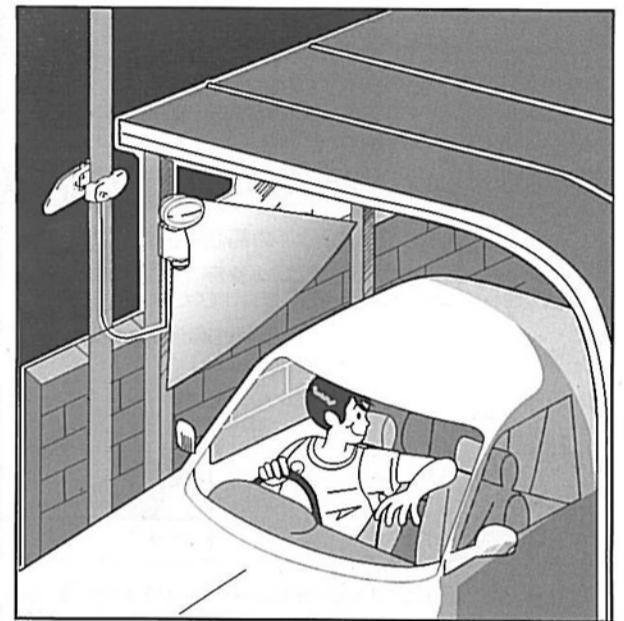
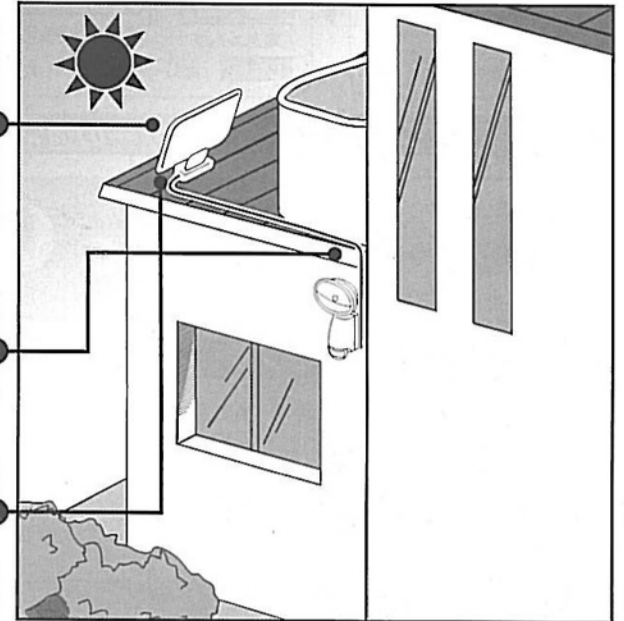
センサーの調子が悪いと思った時は、次の点を確認してください。

- ハロゲン電球がソケットにしっかり差し込まれていますか。
- ソーラーパネルが汚れていませんか。
- センサーが汚れていませんか。
- ハロゲン電球が切れていませんか。
- 探知エリア内でご使用ください。

取付けは確実に

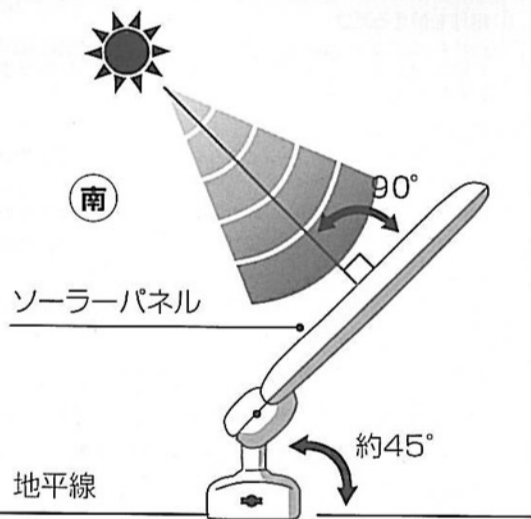
本体・ソーラーパネルは、安全な場所に確実に取付けてください。また、取付け時の事故を防ぐため、安定した足場や十分な作業スペースを確保してください。

※「3.センサー本体の取付け方」
「4.ソーラーパネルの取付け方」参照



ソーラーパネルの取付け場所

- 1 直射日光の当たる南向き
- 2 地平線の上方向約45°
- 3 日照時間の長い場所
- 4 木やビル等、太陽光を妨げるものがない場所
- 5 太陽光に対し正面になるようソーラーパネルの角度を調節



※地平線に対し約45°がもっとも充電効率のよい角度です。

ライト本体の取付け注意!

センサーは、周囲の明るさと温度変化に探知するので、図のような場所に取付けると、誤動作や動作をしないときがあります。

風などでゆれる植物やカーテン等の近く

エアコン等の送風を受ける場所

大理石の床や壁等の光の反射を強く受ける場所

ガラスや壁ごしの場所

強い振動を受ける場所

車の通る道路に面した場所

電波の強い場所

取付け高さが5m以上の場所

3. センサー本体の取付け方

1

ブラケット固定ネジを外し、ブラケットを本体から外します。

ブラケット固定ネジ

2-1

木・アルミ板・薄鉄板の場合

1. 壁等にブラケットを当て、穴の位置に合わせて印をつけます。
2. 印の位置に電気ドリル等でφ3.3mm(壁等が木製の場合φ3mm)の穴をあけます。
3. 付属の本体用取付けネジ2本でブラケットを固定します。

2-2

コンクリート壁の場合

1. 振動電気ドリル等でφ6mmの穴をあけ、付属のプラスチック製プラグを差し込み、金づち等で軽く叩いて壁と面を合わせます。
2. 付属の本体用取付けネジで壁にブラケットを固定します。

3

本体をブラケットの上の爪に差し込んで取付け、ブラケット固定ネジで締め付けます。

ブラケット固定ネジ

最後に

ソーラーパネル・コードの差し込みジャックを本体にしっかり奥まで差し込みます。

ジャック差し込み口

4. ソーラーパネルの取付け方

柱やパイプにクランプで取付ける場合

△注意 クランプ台は、万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。

L型ボルトをクランプ台に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップをつけてください。

L型ボルトをAの向きに奥まで差し込み、Bの向きに90°倒します。

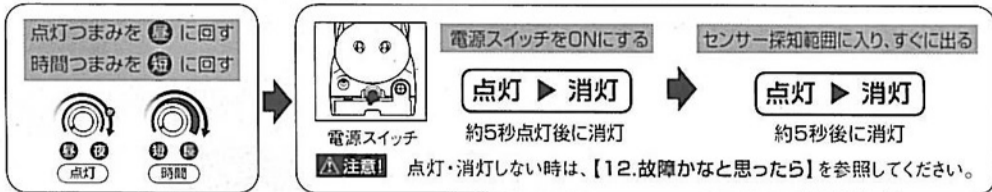
※柱・パイプをクランプの中央に挟みます。

壁に直接取付ける場合

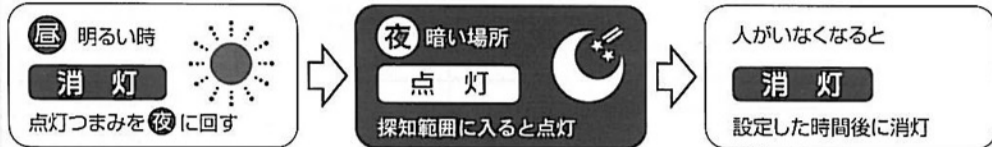
1. 木製の壁等に取付ける場合、付属のパネル用取付けネジ4本で固定してください。
2. コンクリートの壁やアルミ板、薄鉄板への取付けは、「3.センサー本体の取付け方」と同様です。

5. センサーの動作テスト

購入後は充電不足なので、充電後にセンサー動作テストをしてください。



6. センサーの通常動作



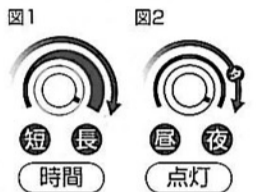
7. センサーをお好みのモードに調節

1 (時間) タイマー点灯保持時間 約5秒～約30秒

点灯時間の調節は、調節つまみを図1のように右へ⑧(約5秒点灯後)から少しずつ回し、その都度点灯時間を確認し、調節してください。

※つまみ角度は時間とは比例しません。※探知範囲に人がいつまでもいると点灯時間が延長され消灯しません。

※センサーの探知範囲に入り点灯を確認後、すぐに探知範囲外へ出てください。



2 (点灯) 明かりセンサー

① 昼も夜も点灯 ② 薄暗い時から夜に点灯 ③ 暗い時だけに点灯

点灯させる周りの明るさを調節は図2のようにつまみを①～③回すことで、点灯を調節することができます。

※夜でも他の照明の光が当たるときは②側に調節します。※周囲が実際に点灯させたい明るさの時に調節してください。



3 センサー探知距離、角度の調節

●探知したい場所へセンサーを向けてください。

●探知角度を狭くしたい時は、付属の探知角度調節シールを図3のようにセンサーレンズ側面に貼ります。

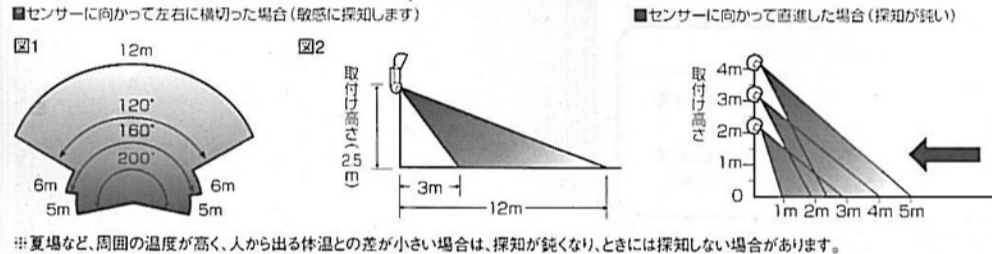
●探知距離を短くしたい時はセンサーを下向きにします。

8. センサーライトの探知範囲

センサーは最長約12m×200°の範囲で動く人や車を探知します。

センサーに向かって左右に横切った場合は敏感に反応しますが、センサーに向かって直進した場合は、極端に探知が鈍くなります。図1・図2の条件に合う場所に取付けてください。

焦点型赤外線センサーの探知距離



11. お手入れの仕方

本体は中性洗剤をふくませた布で拭いた後、乾いた柔らかい布で中性洗剤が残らないよう、よく拭きとります。

シンナー・ベンジン・磨き粉・アルカリ性洗剤・化学ぞうきんは変色や傷の原因となるため、お使いにならないでください。

ソーラーパネルの表面の汚れの拭きとりは、年に1～2回実施してください。中性洗剤、又は水をふくませた布で拭いた後、乾いた柔らかい布で中性洗剤が残らないようによく拭きとります。

ソーラーパネルとライト本体の取付けネジは、年に1～2回ゆるみやガタつきがないか点検してください。

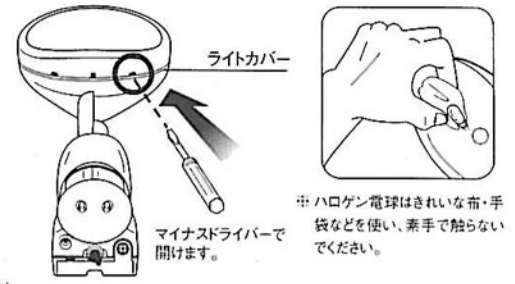
12. 故障かな?と思ったら

現象	考えられる原因	処置
点灯しない	バッテリーの充電不足	ソーラーパネルを太陽光の当たる場所に置く。(ソーラーパネルの汚れを拭き取る)
	電源スイッチがOFFの状態になっている。	電源スイッチをONの状態にする。
	ソーラーパネルの差込みジャックが抜けている。	差込みジャックをジャック差込み口に入れる。
	ハロゲン電球を正しく取付けていない。	ハロゲン電球を正しく取付ける。
	ハロゲン電球が切れている。	ハロゲン電球を交換する。
	探知範囲の設定が適切でない。	探知範囲を調節する。(センサーを探知させたい方向に向ける)
	センサーに向かって直進している。	本機に向かって直進した場合、探知が鈍くなります。
点灯しない 周囲が暗いのに探知範囲 に人がいても点灯しない	探知部に他の照明器具の光が入っている。	点灯つまみを②側に点灯するまで回す。
	探知範囲内に人がいる。	探知範囲外に移動する。
昼なのに点灯する 周囲が明るいのに	点灯つまみが②側に調節されている。	点灯つまみを③側にあわす。
探知範囲内に人が いないのに点灯する	探知範囲内に誤動作源がある。	誤動作源を取り除く、または探知範囲を規制する。
	ライトがセンサー部を遮っている。	ライトをセンサーから離す。
探知範囲内に人が いるのに消灯する	時間つまみが④側に調節されている。	時間(タイマー)経過後、消灯することを確認する。 時間(タイマー)つまみを④側に調節する。
	探知範囲内で人が静止している。	本センサーは静止している人は性能上探知できません。
探知距離が短い	センサーレンズが汚れている。	探知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないように拭き取る。
	センサー方向がずれている。	探知したい方向に調節する。
点灯回数が 少なくなった	曇り・雨・雪の影響による太陽光不足	梅雨の時期は点灯回数が少なくなります。
	バッテリーの寿命	販売店に注文して新しいバッテリーに取替えてください。 (本機のバッテリーは平均500回の充電が可能です)

9. 部品交換について

ハロゲン電球の交換

- 電源スイッチをOFFにします。
- ライトカバーに回のようにマイナスドライバーを差込み、回すようにして開けます。
- 古いハロゲン電球を抜き取り、新しいハロゲン電球を取付けます。
- ライトカバーを本体に取付けます。
- 電源スイッチをONにします。

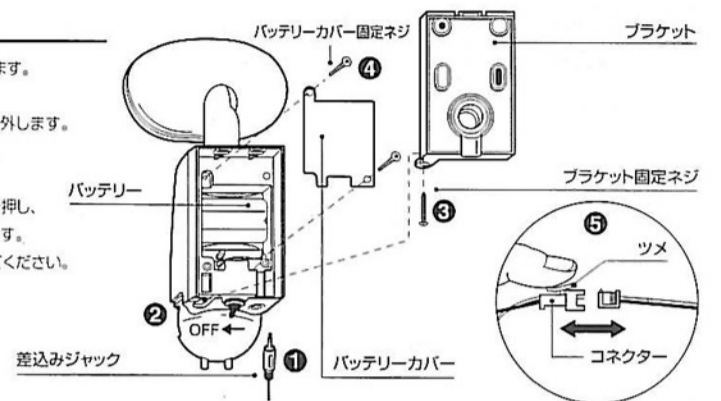


警告

- 点灯中、消灯直後は電球が熱くなっていますので絶対交換しないでください。
- 電球は消灯していても、本機の電子回路には電気が流れていますので、突然ライトがつく恐れがあります。必ず電源スイッチをOFFにしてからお取替えください。

バッテリーの交換

- ソーラーパネルの差込みジャックを抜きます。
- 電源スイッチをOFFにします。
- ブラケット固定ネジを外し、ブラケットを外します。
- 2本のバッテリーカバー固定ネジを外し、バッテリーカバーを外します。
- バッテリーを取り出しコネクターのツメを押し、コネクタを外しバッテリーを取り外します。
- バッテリーの取付けは、逆の要領で行ってください。



ハロゲン電球 (6V 6W) バッテリー (6V 1200mA) のお買い求めについて

■ハロゲン電球またはバッテリーは本機をお買い上げの販売店へご注文してください。

尚、入手困難な場合は直接(株)プロトにご注文いただけます。お送り致します。

※但し、代金は前金でお断りします。郵便切手でも結構です。

【品番S-61】替球 (ハロゲン電球6V 6W)
消費税・送料込み
¥1,300-

【品番S-62】替バッテリー (ニッケル水素 6V 1200mA)
消費税・送料込み
¥5,000-

10. 仕様

ライト本体		ソーラーパネル	
ライト	種類 ハロゲンランプ 6V 6W	種類	結晶太陽電池
バッテリー	種類 ニッケル水素電池	出力	7V 1W
センサー	電圧・容量 6V・1200mA	ケース材質	PC樹脂
	探知方式 焦点型赤外線センサー	コード長さ	5m
切替スイッチ	探知範囲 水平 約200°・約12m	クランプ取付けサイズ	【厚】最小15mm～最大110mm 【パイプ径】最小15mm～最大75mm
	本体の動作ON/OFF (電源OFFの状態でも充電可能)	重量(クランプ台、カバーを含む)	470g
照度切替	昼～夜	設置場所	屋外用(防雨タイプ)
点灯時間	約5秒～約30秒		
本体材質	PC樹脂		
本体重量(バッテリーを含む)	530g		
1日平均点灯回数	■春夏秋 平均25回(満充電時60回) ※東京 充電可能な平均日照時間 3時間		
※点灯時間を約30秒にした場合	■冬 平均15回(満充電時60回) ※東京 充電可能な平均日照時間 2時間		
設置場所	屋内・屋外用(防雨タイプ)		

13. 警告

- 電球を替える時は
 - 点灯中、消灯直後は電球が熱くなっていますので絶対交換しないでください。
 - 電球は消灯していても、本機の電子回路には電気が流れていますので、突然ライトがつく恐れがあります。必ず電源スイッチをOFFにしてからお取替えください。
- バッテリーを交換の際は
 - 濡れた手で本体や差込みジャックに触れないでください。雨などで濡れたときも触れないでください。感電の恐れがあります。
 - 必ず電源スイッチをOFFにしてからお取替えください。
- 取付け場所は、燃えやすい物が近くにない所を選んでください。
 - 布や紙など燃えやすい物や引火しやすい物の近くには絶対に取付けしないでください。
- 火傷に注意してください。
 - 点灯中、消灯後も電球・ライト部は熱くなっていますので絶対に触れないでください。
- 屋外に取付ける場合は
 - 本機は防雨構造です。通常の雨・風には耐えますが、防水タイプではありませんので、大量の水のかかるような所には取付けしないでください。
 - ※防雨構造は、IP-44 電気機械器具の保護等級について許可を受けた規格です。
- ライト本体を屋内・屋外に関係なく逆さまに取付けしないでください。
- 本機を改造しないでください。
- 電波を出す器具の近くには取付けしないでください。
 - 電波を出す器具や本機が誤動作する場合があります。



※本機は探知範囲内に侵入する物(人、車等)に対して、注意を促しますが、盗難犯罪が発生しても一切の責任は負いません。

※製品改良のため、仕様および外観は、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。